

江戸時代の箱根湯本温泉街：プラタモリ箱根の温泉



プラタモリは、箱根湯本駅から**源泉のある立ち寄り湯和泉をめざし**、箱根湯元の商店街を歩きます。現在はおみやげ物屋が立ち並びますが、かつての箱根湯本温泉は、山あいの一角を占める小さな温泉地でした。



大きく右に曲がる道（上の地図で9分と示されている付近）は、かつての水路の跡です。プラタモリは、橋を渡り、江戸時代の箱根湯本温泉街に到着します。

箱根温泉発祥の地

立ち寄り湯・和泉の付近に、箱根温泉発祥の地の石碑があります。源泉は奈良時代に発見され、現在も同じ源泉が利用されています（現在の源泉は非公開）。立ち寄り湯・和泉の建物内には、現在は使われていない、手掘りの源泉跡があります（番組では未紹介）。

江戸時代には、湯元には源泉が1つしかなく、宿が数軒ある、小さな温泉地に過ぎなかったのです。

箱根七湯



[萬翠楼福住](#)

posted with [トマレガ](#)

神奈川県足柄下郡箱根町湯本643[\[地図\]](#)

楽天トラベル

じゃらん

プラタモリは、国から重要文化財に指定された老舗の宿、**萬翠楼 福住**（ばんすいろうふくずみ）を訪ねます。

- アクセス：立ち寄り湯・和泉の手前です

かつての箱根の旅館には、七湯の枝折（しおり）という7つの巻物が置かれていました（一般非公開）。

1. 湯本
2. 塔ノ沢
3. 堂ヶ島
4. 宮ノ下
5. 底倉
6. 木賀(きが)
7. 芦ノ湯

湯治のルールブックだったこのしおりは、当時の混浴の様子や、底倉温泉の痔の治療風景など、興味深い絵が載っています。ところが、意外な使われ方をされるようになります。

ガイドブックとして江戸に流通するようになったのです。1つ1つの温泉は寂しい箱根でしたが、7つの巻物がセットとして扱われ、七湯めぐりのイメージが加わり、徐々に知名度を上げていきました。

強羅駅：プラタモリ箱根の温泉



プラタモリは、強羅駅に到着します。強羅は箱根七湯に含まれません。箱根七湯を結ぶ箱根登山鉄道が、なぜ強羅に来たのでしょうか？

タモリさんは、強羅は、石がゴロゴロしていたことが地名の由来であったことを思い出します。

強羅は、現在は温泉地ですが、かつては巨大な石が広がる荒地だった場所です。強羅は、山体崩壊やその後の火山活動の影響を受けていたのです。どのようにして強羅駅周辺は、現在の繁栄を勝ち得たのでしょうか？

強羅公園



そのヒントは、強羅公園にあります。強羅公園は、日本初のフランス式庭園です。

- アクセス：強羅駅から徒歩10分。またはケーブルカー公園下車。

強羅は、荒れていたものの平らな土地が多く、別荘地の建設が計画されたのです。強羅公園や大文字焼（大正10年から）は、別荘のために準備されたものでした。

強羅の温泉



温泉が出なかった強羅ですが、強羅公園の近くに温泉が流れている水路（一般非公開）があります。このお湯はどこから来たのでしょうか？

- アクセス：桐谷 箱根荘向かい

これはプラタモリ箱根編で扱った、**大涌谷**で作った温泉です。江戸時代には、木管を使い、大涌谷から温泉を運んできました。

強羅の別荘

プラタモリは、強羅に残る、600坪もの別荘（石雲山荘：非公開）を訪ねます。藤山雷太の別荘として建てられました。

- アクセス：強羅公園を早雲山側に歩いてすぐ。箱根美術館近く。

広大な庭を通り、建物に到着すると、岩の上に食い込むように建物が建てられています。岩を鑑賞できる窓があり、岩をそのまま削った階段もあります。もっとも眺めのよい上の間からは、大文字焼きが正面に見えます。

強羅には、このほか100軒にも及ぶ別荘が建てられました。

箱根登山ケーブルカー：プラタモリ箱根の温泉

プラタモリは、強羅駅から、早雲山行きの箱根登山ケーブルカーに乗車します。日本で2番目に古いケーブルカーです。ケーブルカーには、短い期間に駅がいくつもあります。これはなぜでしょうか？

傾斜地にある、別荘地の人の移動の便を考えたものでした。

ケーブルカーの終点は早雲山ですが、観光のために、大涌谷までロープウェイが作られました。大涌谷は、プラタモリ箱根編（すぐ下の記事）で紹介されています。



プラタモリ箱根編（#71 2017年4月22日放送）は、**箱根の名所・大涌谷**からスタートします。タモリさんは、大涌谷は初めて。箱根には、年に2000万人もの観光客が訪れます。

大涌谷の黒卵



大涌谷では、寿命が7年伸びると言われる黒卵が名物です。温泉の中の硫化水素と鉄分が結合して、酸化鉄を生成したものです。プラタモリ箱根編のテーマは、箱根の地獄が極楽を生んだです。

大涌谷は、2015年に噴火を起こしました。火山灰の量は100トンであり、人で言うとかくしゃみまで行かない程度の、小規模の噴火でした。大涌谷には、亜硫酸ガス・硫化水素ガスなど有害な火山ガスが立ち込め、古くは大地獄と呼ばれていました。

※1873年の明治天皇の来訪の機会に、大涌谷と改称されました。

箱根の山々：ブラタモリ箱根



箱根は様々な山々の総称です。山々は外輪山を形成し、その内部のくぼみはカルデラと呼ばれます。箱根は、およそ3000年前に大崩壊を起こしたカルデラです。カルデラは、火山の火口と似ていますが、直径が2キロ以上のものカルデラと呼びます。

箱根のカルデラは、陥没カルデラに分類されますが、成り立ちは非常に複雑です。複数の火山からなる4つのカルデラが、合体したり点在したりする、複合カルデラとなります。

宮ノ下温泉：ブラタモリ箱根

ブラタモリは、宮ノ下温泉に移動します。

宮ノ下駅周辺は、箱根でも有数の温泉です。**箱根七湯のうちの4つの温泉場（宮ノ下・底倉・木賀・堂ヶ島）**があるだけでなく、明治11年創業の富士屋ホテルには、多くの外国人が訪ねてきました。チャップリンが宿泊したことでも知られます。

- アクセス：箱根登山鉄道、宮ノ下駅から徒歩。



ブラタモリは、底倉地区にある源泉（地図：●印）を訪ねます。崖のすき間から70度の温泉が湧き出す、自然湧泉です。付近にある太閤の滝のそばには、小田原攻めのさい、豊臣秀吉が入った温泉（太閤石風呂）もあります。

豊臣秀吉の小田原攻め

豊臣秀吉は、戦国時代から北条氏が守っていた難攻不落の小田原城を、苦心して攻め落とします。底倉温泉は、豊臣秀吉の勢力に占領されましたが、住民に無礼があってはならないと、大切に守られた歴史があります。

関連： [【ブラタモリ小田原編】歴史・地形・観光ルートまとめ #28](#)

底倉の谷沿いからは、1日1000トンものお湯が湧き出します。宮ノ下温泉は、**熱、泉質、泉量の3要素を備えた、名泉**なのです。宮ノ下は、マグマだまりの上の温泉の塊に、地表が乗っているような形で、足元は地獄とも言えます。

長尾峠から神山と火山性扇状地を見る：プラタモリ箱根



- 長尾峠へのアクセス：東名高速道路裾野ICからクルマで20分（バス便なし）



出典：Σ64氏撮影による（Wikipedia）

プラタモリは、長尾峠に移動します。

長尾峠から見おろす、芦ノ湖の左手に見えるのは、**箱根の最高峰・神山**です。約3000年前に、北側が大きく崩壊し、カルデラを形成しました。現在の大涌谷です。

その際に、崩壊物が火山性扇状地を形成しました。さらに、**古い小さな芦ノ湖がせき止められ**、いまの大きな芦ノ湖が出現したのです。芦ノ湖は、せき止め湖に分類されます。

箱根カントリー倶楽部と温泉の不思議な関係：ブラタモリ箱根



ブラタモリは、箱根にあるゴルフ場。箱根カントリー倶楽部を訪ねます。

アクセス

- 小田原駅・箱根湯本駅から湖尻行バス利用。箱根カントリー入り口下車。
- バスタ新宿から、箱根小田急山のホテル行き高速バス利用。箱根カントリー入り口下車。

ゴルフ場には、大きな池があります。**火山性扇状地を流れる水**が湧いたものです。この水は、温泉ではなく単なる地下水です。

ブラタモリの火山性扇状地の温泉関連

- [【ブラタモリ別府温泉】歴史・地形・観光ルートまとめ #62 63](#)

地獄谷の温泉の湯

地獄谷周辺は、イメージとは裏腹に、天然温泉がほとんど沸きません。そこで昭和初期に、箱根温泉供給株式会社が設立されます。箱根温泉供給株式会社は、大涌谷くろたまご館の関連企業です。

1. 箱根カントリー倶楽部周辺のイタリ湿原に湧く井戸水を、ゴルフ場内のイタリ池に貯水。
2. 浄水後、ポンプの動力で、高低差約350m、総延長約3000mの配管を経て、大涌谷に汲み上げ。
3. 大涌谷で、蒸気（火山性ガス）と用水を混ぜ、大涌谷に自噴する温泉水と混合（作業員は防毒マスク着用）。
4. 温泉旅館に供給（供給先は7館ありますが、口コミが良い2館を下に掲載）。

大涌谷まで水をくみ上げ、成分と熱を加えて作る「天然温泉」。これは、地下水をマグマが温める、宮ノ下温泉の成り立ちとほぼ同じであり、天然温泉と認められています。タモリさんは、大涌谷で、できたての温泉水の香りや温度を確かめます。どこからどう見ても、本物の温泉でした。

(まとめ) プラタモリ箱根編で紹介の歴史・地形観光スポット



箱根は、地下に大きなマグマ溜まりがあり、火山活動が活発。噴火による、山体の崩壊が起きた、地獄のような場所でしたが……。

- 大地獄と呼ばれた一帯は、明治天皇の来訪の機会に、大涌谷と改称され、多くの観光客を迎えた。
- 箱根七湯のうち4湯を持つ宮ノ下温泉は、マグマが地下水を加熱してできた、豊臣秀吉も訪ねた人気温泉地。
- 美しい芦ノ湖は、山体崩壊で誕生したせき止め湖。
- 地獄の使者のイメージもある芦ノ湖の毒竜は、箱根神社の上人の手で改心。縁結びの神様に。
- 地滑りにより、地盤ごと湖底に沈んだ木々は、黒い神代木となり、寄木細工の黒として、人の目を楽しませている。
- 箱根カントリー倶楽部周辺に湧いた井戸水は、大涌谷で温泉に生まれ変わり、旅館の湯船に供給される。

(参考) 崩壊した山体の巨大な破片である岩の塊は、流れ山と呼びます。船見岩、金太郎岩、望湖石など。

箱根関所はなぜ鉄壁なのか：プラタモリ箱根関所



プラタモリは、京都側から、全長38mの関所に入ります。関所入口では、足軽が24時間監視をしていました。旅人は、まず係から検閲を受けます。そばには、火縄銃や弓が大量に備え付けられており、旅人にプレッシャーを与えます。

- 小田原駅より箱根町行バス55分、箱根関所跡下車2分
- 箱根湯本駅より箱根町行バス40分、箱根関所跡下車2分

江戸時代の箱根関所には、最長400mの柵（さく）が、山の頂上から芦ノ湖のあいだに、いくつか作られていました。



高台（地図：●印）から、箱根関所を見ると、山と湖との間の土地はわずか猫の額ほどです。よく観察すると、断層が作った崖と芦ノ湖の間の狭小地に、箱根関所が作られていることがわかります。箱根関所は、地形的に要害にあたり、鉄壁の守りを誇ったのです。



箱根関所は、丹那断層の北に接続する箱根町断層のそばに立地しています。箱根町断層は、伊豆半島の丹那断層の北に接続しています。箱根町断層は、横ずれ断層です。縦ずれ断層と異なり、崖を生成することは通常はありません。**なぜ箱根関所付近には、崖が生まれたのでしょうか？**

箱根町断層には、並行する平山断層が存在します。長方形の長辺が、2つの断層に引っ張られるような形となり、挟まれた四角の地帯が陥没したのです。その低くなった土地に、芦ノ湖、箱根関所が位置しています。

箱根関所は女性に厳しい？：プラタモリ箱根関所



プラタモリは、江戸方面から、箱根関所を訪ねてみます。

すると、関所の係員に扮した演者に、同行者のうち女性だけが、取り調べを受けます。関所では、女性は、幕府発行の証文（手形）を見せ、本人確認を受けます。証文には、髪の毛や灸の跡など、身体的な特徴が記され、すり替わらないように工夫されています。

江戸から箱根関所に入ると、**なぜ女性だけが、取り締まりを受ける**のでしょうか？

それは、江戸で謀反を起こそうとする者は、事前に、人質となっている妻や家族を江戸から逃がすということが、多く見られたためです。当時の規則を確認すると、女性だけが証文（手形）を求められたことが分かります。

プラタモリは、小田原橋に移動します。**なぜ箱根に、小田原橋が存在する**のでしょうか？

箱根宿は、小田原と三島の人に移住して作られたため、小田原の地名が残っているのです。移住は、箱根の険しい山道に宿場が必要だと考えた、幕府の命により行われました。



プラタモリは、現在の箱根湯本駅と箱根関所（箱根宿）の中間付近に位置する、**畑宿**の畑の茶屋付近を訪ねます。畑宿は、江戸時代に、街道を外れて歩く不審者を監視する「守り村」に位置づけられており、寄木細工が盛んです。

- 箱根湯本駅より箱根登山バス・箱根旧街道線にて15分。畑宿バス停車。

畑宿は、東海道の難所「箱根八里」に位置します。箱根八里とは、東海道の小田原宿から箱根宿までの四里、箱根宿から三島宿までの四里をあわせた区間です。

畑宿付近の箱根八里は、尾根筋に道がありました。しかし、江戸時代に幕府により、谷道に付け替えられます。幕府は、抜け道がなく、またぬかるみやすく歩くのに時間を要する谷の道をわざわざ敷設させたのです。石畳の道は、よく観察すると、水はけを良くするための、側溝の跡があります。畑の茶屋付近から谷道に入り、国道1号に近づくと、厩舎が急になり最大の難所を迎えます。

箱根寄木細工：プラタモリ箱根関所



プラタモリは畑宿に戻ります。畑宿では、箱根寄木細工の看板が多く見られます。寄木細工は、200年の歴史があります。タモリさんは、**寄木細工浜松屋**の7代目の職人に話を聞きます。

寄木細工は、細長い木片を、決められた手順で組み、幾何学的な模様材を作ります。その後、特殊な大型のかんなで薄く剥がすと、シート状となり、様々な容器に貼ることができます。

寄木細工を作っていた畑宿は、箱根関所を鉄壁にするために、重要な役割を担っていました。不審な旅行者を幕府に通報する役目です。畑宿のような集落は、守り村（関所守り村）と呼ばれます。守り村は、箱根関所だけでなく、脇の街道にも点在していました。

以上、NHK番組のプラタモリが紹介した、箱根関所の歴史や地形を踏まえた観光スポットやアクセス方法を紹介しました。

関連する回は、[【プラタモリ小田原編】歴史・地形・観光ルートまとめ #28](#)となります。

- [プラタモリ全放送回のまとめ](#) … プラタモリ現シリーズの記事の一覧です。
- [プラタモリ \(Facebook\)](#) … いいねすると、記事完成時に連絡が行きます。